

7月16日

学芸講座「資料保存から見つめる地域の歴史文化 -歴史文化のレスキュー-」

に寄せられたご質問に

講師・天野先生がお答えします
(国立歴史民俗博物館研究部 准教授)

Q & A

Q

最後に述べられていた「専門家・専門知の関わり方」について、
天野先生の現在のお考えをお伺いしたいです。

まず、関心のあること、取り組もうとしていることは、どのような技術・知識に支えられているかを知る（調べる）ことからかと思います。その上で、現場での実践に際して直接的な関与が見込めるのか、応用的に取り入れる必要があるのかを検討していくことが重要だと考えています。現状ですと、技術や知識の紹介・導入に向けた検討・実践といった経緯をまとめてコーディネートしてくれるところが必ずしもあるわけではないので、大局的には議論・共有する場を恒常的に設定していくこと、個別具体的には「文化財」・「資料保存」といったテーマで関わりうる人たちと日常的に交流し、それぞれの考え方や取り組み方を理解しておくことが必要なのかと考えています。